

[インデックスに戻る](#)

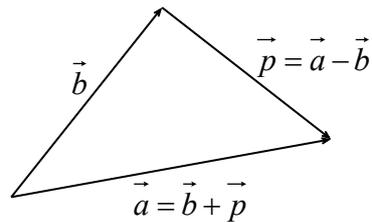
13. 平面ベクトル

13-1. ベクトルの定義と演算

13-1-2. ベクトルの演算

13-1-2-3. ベクトルの減法

$\vec{b} + \vec{p} = \vec{a}$ をみたすベクトル \vec{p} を、 \vec{a} と \vec{b} の差といって、記号で $\vec{a} - \vec{b}$ と表す。



$\vec{OA} + \vec{AB} = \vec{OB}$ であるから、

$$\vec{AB} = \vec{OB} - \vec{OA}$$

である。

$\vec{b} + (\vec{a} + (-\vec{b})) = \vec{a} + (\vec{b} + (-\vec{b})) = \vec{a} + \vec{0} = \vec{a}$ であるから、

$$\vec{a} + (-\vec{b}) = \vec{a} - \vec{b}$$

が成り立つ。

$\vec{a} + \vec{0} = \vec{a}$ であるから、

$$\vec{a} - \vec{a} = \vec{0}$$

が成り立つ。

[インデックスに戻る](#)